

2022年12月20日

SAM日本チャプター会員 各位

SAM日本チャプター
東京支部長 蛭田克美

2023年1月度 東京支部例会について（ご案内）

拝啓 会員各位におかれましては、お元気でお過ごしのことと推察いたします。

さて、標記の例会についてつぎのとおりご案内いたします。

今回は、多岐にわたる分野のテーマを研究しておられるSAM東京支部の伊藤芳康様に、年の初めにふさわしいお話ををお願いしました。

Zoomを兼用しますので、東京支部の皆様のほか、名古屋・大阪両支部の皆様も参加可能です。

ご多忙の折とは存じますが、会員各位のご参加をお待ちしております。

敬具

■日 時: 2023年1月18日(水) 14:40～16:15

※理事会(12:30～13:30)、100周年記念事業委員会(13:35～14:35)に引き続き開催します。

■会 場: 東京駅サピアタワー9階 学校法人産業能率大学「セミナールーム2」(3階受付経由でご入館ください。)

■スピーカー: 伊藤 芳康(いとう よしやす) SAM 監事(東京支部)

【経歴】慶應義塾大学 経済学部卒、米国デンバーハーバード大学 経営大学院 MBA

三菱UFJ信託銀行 執行役員

間組 取締役専務執行役員

菱永鑑定調査株式会社 取締役社長

三菱UFJトラスト保証株式会社 取締役会長

株式会社グリーンフレンズ 取締役社長

【テーマ】『怨霊封じの結界 京都&江戸』

【要 点】日本歴史学会の最大の欠如は宗教を無視した事である。歴史と宗教は切り離せない。日本人は太古から地震・津波・雷・火事・台風・噴火・暴風雪等の天変地異や事故・疫病等は全て怨霊による『祟り』のしわざと信じた。よって日本の宗教の基本は祟り神である怨霊を封じ込める事であり、怨霊の侵入を防ぐ手段が大陸からもたらされた理念に基づく『結界』を作る事であると信じられた。『結界』は当時の最先端科学だったのだ。よって、あらゆる都市計画において『結界』が作られるのだ。

その中で特筆されるほど見事なのが、京都千年王国を築いた桓武天皇の結界と、当時の世界の中では稀有の存在である260年間の平和をもたらした徳川家康の結界である。

講話のポイントは西洋のキリスト教に匹敵するのが日本の怨霊信仰であり、怨霊封じ込めの理念を解説し、これらの見事な結界を紐解き解説する事である。

■会 費: 1,000円

■出欠の有無: 2022年10月5日(水)までにSAM事務局までお知らせください。

■Zoom情報: <https://us06web.zoom.us/j/83966198058?pwd=aGpJWkd1UmhkeGVOSm5OMjNBc0dwZz09>

ミーティングID: 839 6619 8058 パスコード: 840186

以上

【事務局】〒158-8630 東京都世田谷区等々力6-39-15
学校法人産業能率大学総務部総務課内 山崎裕貴
電話番号 03-3704-9046
Eメールアドレス sam@h.j.sanno.ac.jp